

YOKOROU

No.26

OCTOBER
2021

横浜労災病院 地域医療連携広報誌



CONTENTS

整形外科の紹介

【トピック】

- がん看護外来の開設について
- がんゲノム医療連携病院の指定を受けました
- 東京オリンピック・パラリンピック開催への協力により表彰されました

横浜労災病院 | 地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院 <https://www.yokohamah.johas.go.jp>

横浜労災病院の理念 — みんなでやさしい明るい医療 —

大変お世話になっております。当院運動器センター（整形外科）の新しい情報、臨床統計のご報告、メンバーのご紹介をさせていただきます。

◆手術について

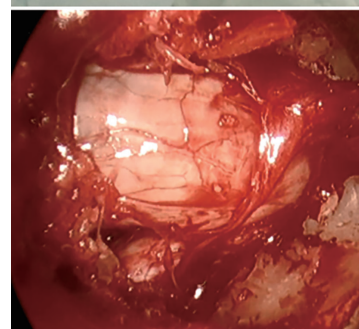
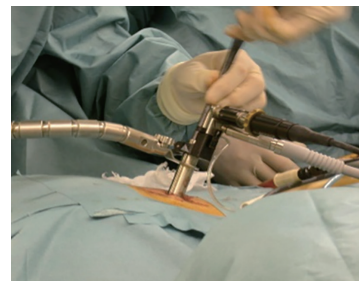
十分な説明・低侵襲・高い安全性を心がけ、早期離床・早期機能回復に努めています。低侵襲については、皮膚の創をなるべく小さくし、筋や靱帯など軟部組織への侵襲も必要最小限とするMIS（minimally invasive surgery：最少侵襲手術）なども各分野の手術において早期から導入しています。

◆全ての脊椎脊髄疾患を対象とする脊椎脊髄外科

全脊椎レベルの、椎間板ヘルニアや狭窄症等の一般的変性疾患から、靱帯骨化症、環軸椎脱臼、小児側弯症、先天疾患の脊椎病変、成人脊柱変形、脊髄内腫瘍から転移性脊椎腫瘍も含む脊椎脊髄腫瘍と、あらゆる脊椎脊髄疾患に対応し、豊富な経験と実績があります。

保存療法では各種ブロックに加え、実施施設の少ない頸部神経根ブロックや腰部椎間板ブロックが強い疼痛例に大きな効果があり、また腰椎ヘルニアに対する新たな治療の椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）も実施しています。

手術療法では全脊椎の各種術式が選択・実施可能であり、侵襲の軽減と安全性の確保に努めていますが、低侵襲手術としては2cmの皮切による脊椎内視鏡、圧迫骨折の圧壊した椎体に対し1cmの皮切により整復シセメントを注入するBKP（椎体形成）、スクリュー刺入部のみの皮切による経皮的スクリュー挿入（PPS）や5cm程度の皮切により前方椎体間に矯正力の大きいケージを挿入する腰椎前側方固定術（LIF）等が選択可能であり、全て初期より導入・多数実施し、豊富な経験があります。



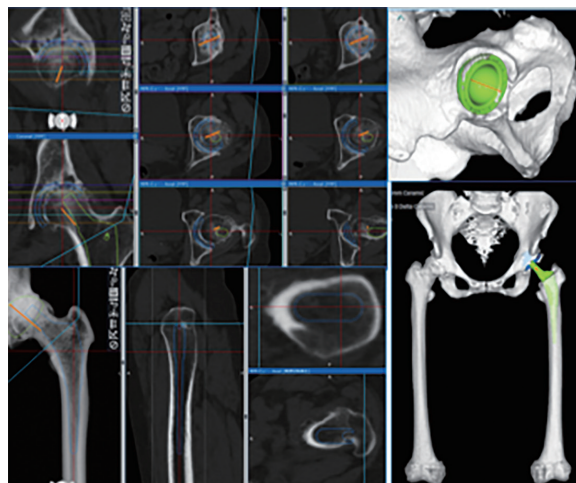
脊椎内視鏡

◆人工関節外科

人工関節外科では、人工股関節手術と人工膝関節手術を中心に行っていますが、関節リウマチの手術も実績は多く、四肢全ての関節手術を対象としています。

人工股関節手術では筋温存による筋温存によるMIS（minimally invasive surgery：最少侵襲手術）導入しています。筋肉と筋肉の間（筋間）から入り、筋腱を全く切離さないものです。当院では側臥位前側方アプローチを使用しています。これは大腿筋膜張筋と中臀筋の筋間から進入するアプローチです。筋肉を温存することができるため、術後の早期回復が可能となります。

術前計画では全例にCTデータを利用した3次元による術前計画が可能となる、3Dテンプレートを使用しています。それにより、インプラントの最適な設置位置を計画することができます。患者さんへも3次元を用いた完成イメージや治療内容の説明を行うことができ、安心して治療を受けていただくことが可能です。



3Dテンプレートによる人工股関節手術計画

◆MIPOを得意とする運動器外傷センター

2018年7月に帝京大学外傷センターから赴任したセンター長の小林誠です。専門は四肢の骨折でMIPO（minimally invasive plateosteosynthesis）による低侵襲整復固定術を多用していますが、特に上腕骨近位端骨折と上腕骨骨幹部骨折に対するMIPOを得意としています。従来のプレート固定は、プレートの長さよりも長い皮膚切開を用いていたので、より皮膚切開が小さくて済む髄内釘固定が好まれる傾向にありました。しかし髄内釘固定では肩の腱板を切開するので、術後に肩の痛みが出たり肩の動きが制限される場合があります。プレート固定では肩の腱板に侵襲を加えないので、術後の肩の機能が保たれるという利点があります。大きく切開しないで骨折を整復固定するには経験と技術が必要なのですが、私はこの術式を16年前から実践しております。四肢の骨折全てに対応できますが、特に上腕骨の骨折は是非当院にご紹介ください。

◆手・末梢神経外科

当科は日本手外科学会基幹研修施設に認定されており、疾患や外傷による上肢（肩・肘・手・手指）機能障害に対する専門的診療を行っています。特に、四肢の末梢神経障害に対しては、詳細な神経学的診察と補助的に筋電図・神経伝導検査など電気生理学的検査や画像検査を行うことにより、高度な専門性のある診断・治療を行っています。

（上肢）機能再建がその目標であり、主な治療法として、装具やブロック注射などの保存的治療と、効果が不十分な場合・強い麻痺が生じている場合にはマイクロサージャリーを含めた手術的治療があります。交通事故などで生じる腕神経叢損傷をはじめ、真の神経性胸郭出口症候群・手根管症候群・肘部管症候群・足根管症候群などの絞扼性神経障害や、特発性前・後骨間神経麻痺など神経痛性筋萎縮症についても、正確な臨床診断のもと必要な方には手術的治療も行っております。その他、一般的な手の疾患・外傷（弾発指・橈骨遠位端骨折・デュピイトレン拘縮など）の治療も積極的に行っています。

現在、日本手外科学会認定手外科専門医・指導医、日本臨床神経生理学会専門医（筋電図・神経伝導分野）である山本部長を中心に診療を行っています。水曜・木曜午後に手・末梢神経外科専門外来を設けており、当院予約センターへの電話で初診予約が可能です。受診の際は専門外来宛ての紹介状をいただくと幸いです。

◆紹介について

整形外科では外傷・強い痛み・感染・麻痺などの患者さんを急いで紹介いただけるよう横浜労災整形外科医24Hダイレクトコールを運用しています。医療機関の先生方からであれば、夜間・休日含め、24H整形外科医が直接お受けします。登録なども不要です、悩まれた場合の相談でも構いません、迅速な受け入れなどの対応をさせていただきます。どうぞご利用ください。

外傷などの急患は救急部での受け入れも可能ですが、外傷・強い痛み・感染・麻痺などの患者さんを急いで紹介したい場合は

横浜労災整形外科医24Hダイレクトコール

070-6528-1257
（医療機関専用）

へご連絡ください。迅速な受け入れなどの対応をいたします。

臨床統計

手術実績

（令和2年度はコロナによる手術制限あり）

	平成30年	令和元年	令和2年
整形外科年間総手術件数	2016	1993	1769
脊 椎 脊 髄 外 科	454	528	518
頸 椎	120	134	143
胸 椎・腰 椎	334	394	375
脊 髄・脊 椎 腫 瘍	28	24	19
側 弯 症・脊 柱 変 形	27	37	48
脊 椎 内 視 鏡 手 術	80	71	58
末 梢 神 經 外 科	53	61	35
腕 神 經 叢 損 傷	13	10	6
手 根 管・肘 部 管 症 候 群	25	31	22
手 外 科	324	291	227
人 工 関 節 外 科	181	187	151
人 工 股 関 節 置 換	69	80	64
人 工 膝 関 節 置 換	110	106	84
外 傷 骨 折 外 傷	505	447	351

入院治療実績

（2018年度全国DPC対象4764病院の統計より）

	入 院 治 療 患 者 数	神 奈 川 県 内 位	全 国 位
頸部脊柱管狭窄症	131人	2位	15位
腰部脊柱管狭窄症	494人	1位	10位
椎間板ヘルニア	152人	3位	25位
脊 椎 脊 髄 腫 瘍	28人	1位	15位
脊 椎 変 形 (側弯・脊柱変形)	68人	3位	17位
上肢末梢神経麻痺	23人	6位	134位
股 関 節 症	55人	13位	207位
膝 関 節 症	93人	12位	120位

2021 年度医師

氏 名	卒年	専 門	役 職
三 上 容 司	S58	手・末梢神経外科	病院長 運動器センター長
三 好 光 太	S62	脊椎脊髄外科	副院長 整形外科部長 脊椎脊髄外科部長
小 林 誠	H1	運動器外傷	運動器外傷センター長
山 本 真 一	H2	手・末梢神経外科	手・末梢神経外科部長
小 泉 泰 彦	H14	関節外科	整形外科副部長 関節外科副部長
竹 下 祐次郎	H14	脊椎脊髄外科	整形外科副部長 脊椎脊髄外科副部長
齋 木 文 子	H17	脊椎脊髄外科	整形外科副部長 脊椎脊髄外科副部長
川 畑 謙 介	H18	関節外科	
羽多野 雅 貴	H26	関節外科	
桐 山 真 美	H26	運動器外傷	
砂 山 智 未	H26	脊椎脊髄外科	
小 松 直 人	H28	脊椎脊髄外科	
佐 藤 寿 充	H29	運動器外傷	
安 藤 稔 彦	H30	脊椎脊髄外科	
井 田 寛	H30	脊椎脊髄外科	
山 口 莉 沙	R1	外傷・一般整形	
大 庭 雄太郎	R1	外傷・一般整形	

トピック

がん看護専門看護師・認定看護師によるがん看護外来の開設について

横浜労災病院では、がん患者さんやご家族が安心して治療や療養生活を送ることができるように、9月6日から当院にかかりつけのがん患者さんを対象に、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師など複数のがん治療・ケアに関する専門的な資格を持った看護師がご相談をお受けし、支援する取り組みを始めました。

1. 医師と専門的な資格を有する看護師との共同面談

- ・緩和ケア研修会を修了した医師が、がんの診断や治療について丁寧な説明を行います。
- ・専門看護師または認定看護師が説明に同席し、患者さんの知りたい内容に応じた補足説明、担当医との橋渡しや、身体的・精神的・社会的な悩みや心配事を少しでも緩和できるようお手伝いします。

2. 専門的な資格を有する看護師による面談

- ・精神的な不安を軽減するために、専門看護師または認定看護師と個別に面談することもできます。

2021年9月6日から開始です

がん患者さんやご家族のための
がん看護外来のご案内

専門の資格を持つ看護師が
がんとともに生きるあなたをサポートする外来です

がん患者さんやご家族が安心して療養生活を送ることができるように、
がん治療・ケアに関する専門的な知識を持った看護師
(がん看護専門看護師/認定看護師) が一緒に考え、サポートします

例えばこんなとき...

- 病状や治療について不安なことがある
- がんの診断や再発の告知を受け、どうしたらよいかわからない
- 治療中の生活について知りたい
- どの治療を選択したらよいかわからない
- 治療の副作用、外見変化(脱毛など)について相談したい
- 家族や周囲に病状のことをどのように伝えたらよいかわからない
- 治療を受けながら仕事を続けていきたいのか心配
- 痛みなどのつらい症状で困っている
- 今後の療養の場について悩んでいる

●日時
月・火・金曜日 10:00～15:00 (予約制)
面談は、1回30～60分程度です

●場所
A7外来診療室
(変換になる場合があります)

●問合せ先
045-474-8111 (代)
がん看護外来担当
(電話での相談は対応していません)

●費用
保険診療(がん患者指導管理料)の負担が発生します
保険の自己負担額により費用は変わります
【目安】3割負担: 600～1600円程度
1割負担: 200～500円程度

●申込方法
主治医または外来・病棟看護師に伝えてください
電話での面談予約も可能です

お気軽にご相談ください!!

横浜労災病院

なお、詳しい内容については当院ホームページをご覧ください。

<https://yokohama-gan.com/news/news/20210906.html>



令和3年4月1日付けで「がんゲノム医療連携病院」として 厚生労働省より指定されました。

日本人の約半数が生涯のうちに何らかのがんを発症すると言われており、多くの人にとってがんは身近な病気となっています。現在、厚生労働省を中心にがん対策が行われており、がん予防、がん検診だけではなく、がん治療に関する研究が精力的に進んでいます。

中でも個人のゲノム情報に基づいた「がんゲノム医療」の研究も進んでいます。これは、がんゲノムプロファイル検査（がん遺伝子パネル検査）によって明らかになる患者さんのがん関連遺伝子の情報に基づいて、一人ひとりに適切ながんの治療が行えることを目指すものです。

がんゲノム医療を受けられる施設は、その役割によって3種類あり、厚生労働省によって指定されています。

病院の種類	役 割 等	施設数
がんゲノム医療中核拠点病院	がんゲノム医療をリードし、検査や検査結果の評価や治療に加えて研究や人材育成なども行う	12 か所
がんゲノム医療拠点病院	中核拠点病院と連携病院の間に位置づけられ、検査や検査結果の評価や治療を行う	33 か所
がんゲノム医療連携病院	がんゲノム医療中核拠点病院やがんゲノム医療拠点病院と連携し検査や治療を行う	183 か所

※ 2021年8月1日現在

「**がんゲノム医療連携病院**」は、がん細胞の100種類以上の遺伝子を一度に調べ、変異を突き止めるがんゲノムプロファイル検査とその分析を拠点病院や中核拠点病院と連携して実施することで、分析結果に基づいた、それぞれに適した治療薬の選定を行う病院です。

当院は本年4月より、「がんゲノム医療拠点病院」である聖マリアンナ医科大学病院と連携する「**がんゲノム医療連携病院**」として厚生労働省より指定されました。

指定を受けたことにより、拠点病院である聖マリアンナ医科大学病院の協力のもと、がん患者さんの遺伝情報を調べて個々に最適な治療法を選択し、治療方針を決めるがんゲノムプロファイル検査を行うことが可能となり、運用開始を目指して準備中です。

また、今後は、他院に通院中の患者様も検査を受けていただけるよう、専門外来開設を検討しております。

当院はがん患者さんやご家族への相談支援・情報提供に力をいれており、横浜市北東部地域の中核施設として地域住民の皆様に安心・安全・納得できるがん医療を提供いたします。



東京オリンピック・パラリンピック開催への協力により表彰されました

当院は、大会指定病院として、市内でキャンプを行った大会関係者等へ医療の提供を行うなど、大会開催にあたり様々な協力を行っています。その一環として行った大会開催中における防犯カメラの設置などの警備協力に対して、令和3年9月、神奈川県警察本部オリンピック・パラリンピック対策課から感謝状を授与されました。



当院へのご紹介について

◎地域医療機関からの診療予約

登録医療機関（地域医療連携室）

登録医予約専用電話 ☎ **045-474-8362**（平日 8:15～19:00）

☎ **045-474-8344**

登録医療機関でない場合（予約センター）

☎ **045-474-8882**（平日 8:15～17:00）

◎緊急で受診が必要な場合（地域医療機関から）

診療科が明らかな場合

①診療科医師に直接相談する場合

☎ **045-474-8111**（病院代表）へ連絡し、交換手に

「救急患者紹介のため、〇〇科の本日の担当医につないで欲しい」とお話しください。

②地域医療連携室を経由する場合

☎ **045-474-8345**（直通）

診療科が不明な場合

☎ **045-474-8111**（病院代表）へ連絡し、交換手に

「救急外来につないで欲しい」とお話しください。

整形外科の受診が必要な場合

外傷などの急患は救急部での受け入れも可能ですが、外傷・強い痛み・感染・麻痺などの患者さんを急いで紹介したい場合は

横浜労災整形外科医24Hダイレクトコール

070-6528-1257
(医療機関専用)

へご連絡ください。迅速な受け入れなどの対応をいたします。